

3 東部地区

35 高根町会

歴代会長

第一代 鈴木 元枝
第二代 石井 清司
第三代 田中 作太郎

第四代 小野 光
第五代 森本 茂夫
第六代 小野 光

第七代 鈴木 進(現在)

町会について

高根町会は、世帯数 1,000、人口 2,000。単身世帯は 60%を超えました。

町会のある東中野二丁目は、武蔵野台地の先端部にあたり、早くから人が住みついていた。町内から新石器時代の遺物が発見されています。

江戸時代は中野村大字原に属し、氷川神社を産土神として、平穏な暮らしだったようです。

戸山ヶ原が軍用地になると、多くの軍人が住み、また医師、法曹人、学者が集まって、文化的な色合いが濃いまちになりました。

昭和 20 年 3 月の山手大空襲で、全戸焼失しましたが、住民は高根の灯を絶やさず、現在に至りました。戦後、住民は街路灯を維持管理する『高根明光会』を組織し、自治活動を続けてきました。単一町会として再発足したのは昭和 40 年代です。

町会の活動

『支えあい名簿』を基に、民生委員とともに訪問活動や、高齢者懇親会などで、災害弱者の現状把握につとめています。その集大成が、防災訓練での『安否確認』です。

令和 6 年 3 月に行った訓練では、地震発生想定時間の午前 9 時に、町会 45 の班で、当番のみなさんが担当エリア内の避難困難者を訪問、安否の確認を行いました。実施実績は 100%。当番さんからは「東京でも出来るのですね」と感動の声、困難者からは「安心しました。ありがとう」と感謝の言葉が寄せられました。防災訓練への参加者は、100 人を上回り、画期的な成果をあげました。

町会はそのほか、子ども会活動、防犯、環境整備など、様々な活動を通じて、まちの安全・安心の向上につとめています。

令和 4 年には、東部まつり運動会で、二度目の優勝を果たしました。

町会長の携帯電話番号を全町会員に公開し、情報のスムーズな伝達を図っています。